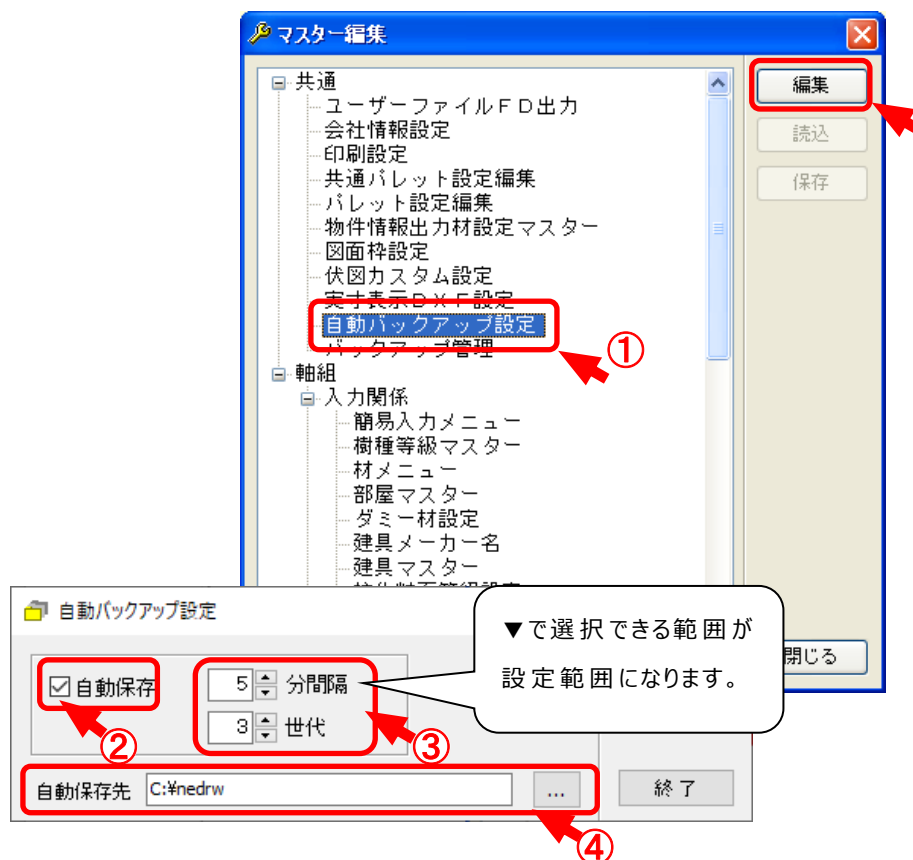


物件保存関連マスター—自動バックアップ設定



自動バックアップ設定では、入力中のバックアップを自動で行います。

- ① [補助] - [マスター編集 : 自動バックアップ設定] を選択し、「編集」をクリックします。
 - ② 自動バックアップにチェックをつけます。
 - ③ 「実行間隔」、「世代数」を設定します。
 - ・「実行間隔」・・・バックアップを実行する時間を分単位で設定します。
実行間隔の設定は1～30分です。
 - ・「世代数」・・・1物件の最大バックアップ数です。
設定できる世代数は3～10世代です。
- ※ 設定した世代数を超えると、一番古いバックアップデータが削除されます。
- ④ バックアップの保存先を設定します。
 をクリックすると、フォルダー参照画面が表示されます。
- ※ 初期値は「C:¥nedrw」で設定されています。



物件データが破損した場合は、バックアップからの復旧が可能です。